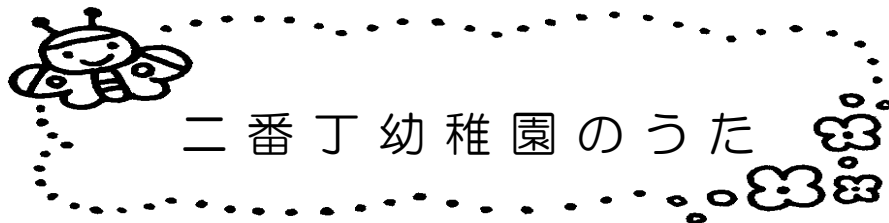


本年度最後の園だよりになります。

そこで、園歌を載せました。これからは、卒園式、修了・終業式で子どもたちが歌いますが、お子さんと一緒に歌詞をみていただき、歌詞の意味について話してほしいと思います。

よろしくお願いいたします。



- 1 青いおやまが見ているよ 広いお庭で友だちと
仲よくいっしょに遊んでいる それは二番丁幼稚園

- 2 高いお空が見ているよ 明るいお部屋で友だちと
たのしそうにうたっている それは二番丁幼稚園

- 3 キラキラお日さま見ているよ お遊戯室で友だちと
かいっぱいおどっている それは二番丁幼稚園

- 4 父さん母さん見ているよ いまに世界の友だちと
手をとり合って進んでいく それは二番丁幼稚園

おんがく会を控えたある日

あるクラスの子どもたちが朝のあいさつの歌が始まる時に、私は園内のどこかに隠れ、子どもたちが探します。(最近は毎日ではありませんが) ある日、そのクラスが、おゆうぎ室でおんがく会の練習をしていたので見に行きました。練習の後、ある子が担任の先生に、「園長先生隠れようと思って来たけど、練習していたので隠れることができなくて、練習を見る振りをして出て行ったのかな」と、言ったそうです。

このように、日々の行動と今(現在)の状況をつないで推察すること、すごいなあと思いました。子どもたち一人一人、様々な能力や可能性をもっています。そのことを見極めて、子どもを認め、ほめ、必要な支援をして、子どもの能力や可能性をどんどん伸ばしていきたいと思います。

私がしている、この人「なんやっとな」と思われるようなことですが、このように考え、思いを巡らせる、すごい、グレートな子どもたちだと思いました。このような子どもたちを育てている担任もとてもすごいです。来年度も「なんやっとな」を続けたいと思います。

来年度も在園児がいる保護者のみなさま、あきれることなく、諦めることなく、粘り強く、私を見守っていただけるとありがたいです。

三野正勝

